

令和 7 年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

和庄中学校区 校番15 学校名 呉市立長迫小学校

a 学校教育目標	夢を持ち 自ら学ぶ ～つなげる・つながる～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 確かな力と社会性を身に付け、地域を愛し、未来を創造しようとする児童生徒の育成 〈ビジョン〉(将来の学校像) 9年間を通して、夢を持ち自ら学ぶ児童・生徒を育成することにより、児童生徒・保護者・地域から信頼される学校
----------	--------------------------	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	現状 ○小中一貫教育の推進により、中学校区の共通経営理念に基づいた研究・教育活動が行われている。 ●基礎学力、活用力の定着に課題があり、個人差・学年差が大きい。 ●目的や場面に応じて自分の考えを表現することが難しい。 (今年度の重点) ①主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の推進。 (子供の問いを生かした「考える授業づくり」)・・・ICT、思考ツールの効果的な活用) ②防災教育の深化に向けた、地域の特色を生かしたカリキュラムマップの実践。 ③和庄中学校区スピリットに基づき9年間を見通した組織的な生徒指導。 ④健康増進・体力の向上に向けた、家庭連携による基本的生活習慣の定着。(早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロール)
------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性・粘り強さ
-------------	----------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから①・②・③年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★ 確かな学力	学力の向上 (貫)	主体的・対話的で深い学びにつながる思考力・判断力の育成	・自らの考えに根拠をもち、表現することにより、学力向上を図る。	・1人1授業を行い。授業評価票3.0/4段階評価中(和庄中学校区目標値)	3.0						
				・「全国学力・学習状況調査」において全国平均値との差	国語 6.0 算数 6.0						
		自分の命は自分で守る児童の育成	・生活科や総合的な学習の時間において、他教科等と関連を図りながら、カリキュラムマップに基づく授業実践を行う。	・標準学力調査全国平均との差(下半期)	国語 3.0 算数 3.0						
				・自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童の割合	100%						
★★ 豊かな心	和庄中学校区スピリットに基づく児童(生徒)の育成 (貫)	粘り強くやり抜く児童の育成	・粘り強く取り組む児童を積極的に評価(なごみ賞、日々の評価)する。	・「災害時に避難する場所や避難の仕方」について理解している児童の割合	100%						
				・学習や生活で「粘り強く取り組んだ」と肯定的に回答する児童の割合	70%						
		人を大事にし、学校や地域に貢献する児童の育成	・地域と連携した活動(長迫公園清掃活動、海軍墓地合同追悼式、クリーン活動、防災教室等)の充実を図る。	・地域と連携した活動の事後アンケートで、「地域に貢献できた」と肯定的に回答する児童の割合	80%						
				・「元気っ子週間(早寝・早起き・朝ご飯・メディア・歯みがき)」を実施し、望ましい生活リズムの定着を図る。							
★ 健やかな体	健康促進・体力の向上 (貫)	体力・運動能力の向上	・ストレッチタイムで簡単な柔軟運動を実施する。 ・運動場での体育の時は、50mの追いかけ走を1本行う。 ・持久力を向上させるため、年間を通してRUNランタイムに取り組む。	・自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童の割合	柔軟 70% 50m走 70% 持久走 70%						
				・体力テストで県平均を上回る児童の割合							
		基本的生活習慣の確立 (貫)	・「元気っ子週間(早寝・早起き・朝ご飯・メディア・歯みがき)」を実施し、望ましい生活リズムの定着を図る。	・早寝・早起き・朝ご飯・メディア・歯みがきが60%実践できた児童の割合	70%						
働き方改革	教職員の主体性・積極性が発揮できる教育環境の整備	児童生徒と向き合う時間の確保	・業務内容の見直しや効率化を図り、見直しをもって業務を遂行する。	・児童と向き合う時間の確保に努めたと答える教職員の割合 ・日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合	90% 90%						
いじめ防止	安全・安心な学校風土の醸成	いじめや暴力行為等を許さない学校環境づくりの推進	・いじめ撲滅標語、なかよし集会等により、いじめを許さない風土をつくる。 ・縦割り班活動の充実を図る。 ・教員による読み語りを月1回実施する。	・「自分はいじめられている」と回答していない児童の割合(いじめアンケート)	100%						

【k: 評価】
A: $100 \leq$ (目標達成) B: $80 \leq$ (ほぼ達成) < 100
C: $60 \leq$ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60